

令和3年度 上尾市立南中学校 学校評価

1 実施時期

(1) 自己評価

令和3年12月

(2) 学校関係者評価

令和4年2月8日（書面開催）

2 実施内容

(1) 自己評価

ア 自己評価の項目を肯定的評価からA・B・C・Dの記号を選択

イ 参考として、生徒アンケートを実施し、その項目を肯定的評価から4・3・2・1の数値を選択

ウ 参考として、保護者アンケートを実施し、その項目を肯定的評価から4・3・2・1の数値を選択

(2) 学校関係者評価委員会を開催

自己評価及び事前の生徒アンケート、保護者アンケートの結果を学校関係者評価委員会で説明を行った（今年度は書面開催）。自己評価における課題、改善策等を提案した上で、学校関係者評価委員からご意見・ご感想をいただいた。構成委員は、聖学院大学准教授、元中学校長、元学校関係者評価委員、元PTA顧問、上尾市補導委員、PTA会長、大谷地区主任児童委員、上尾市人権擁護委員の計8名である。

3 公表方法

学校だより、HPでの公表

4 成果

《自己評価の結果》

(単位%)

	評価項目	3,4割合		評価項目	3,4割合
1	学校教育目標	99.6	16	自己研修	100.0
2	学級目標の達成	81.3	17	校内研修	100.0
3	豊かな人間性育成	87.5	18	学力向上プラン	81.2
4	たくましい心身の育成	93.8	19	道徳教育	75.0
5	考え・学び合う力の育成	100.0	20	「チーム南」として	100.0
6	総合的な学習の時間	75.0	21	学習環境づくり	93.8
7	補習	62.6	22	校内巡回	87.6
8	ICTの活用授業	87.6	23	整理整頓・環境保全・施設設備	81.3
9	学習の工夫	93.8	24	あいさつ運動・下校指導	93.8
10	問題解決的な学習	87.5	25	ヘルメット着用指導	100.0
11	あいさつの指導	81.3	26	学校運営協議会	37.5
12	授業での返事の指導	93.8	27	接遇	93.8
13	時間を守る生徒の育成	93.8	28	学年・学級通信・HP	62.6
14	自問清掃	75.0	29	専門機関との連携	87.5
15	落ち着いた学校	93.8	30	SDGsとボランティア	68.5

3,4の合計で80%以上の評価項目は、30項目中25項目である。

5 今後の課題と改善策

	課 題	主 な 改 善 策
1	㉔学校運営協議会委員とのコミュニケーションや情報交換が少なかった	学校運営協議会主催事業へ学校教職員を積極的に参加させ、情報交換を行う。
2	㉕補習を計画的に行うことができなかった。	今年度は感染対策のため、残しての活動が例年より少なかった。今後も感染状況を見極め、行っていく。
3	㉖学級通信の発行回数が少なかった。	今年度は、感染対策等で教職員の負担が大きかった。その代わりに、HPにより積極的に情報発信した。発行については担任裁量によるが、月1回の学年・学校日より、HPで学校の教育活動の様子が分かる工夫を行い、発信していく。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想等

【意見】

- ・「㉔学校運営協議会」においては、コロナ禍により、学校運営協議会の活動ができなかったことが要因と考えられる。
- ・学校運営協議会委員と学校職員との交流、意見交換の場があればよかった。しかし、コロナ禍のために意見交換の場を求めるのは難しかったと思う。
- ・コロナ禍が落ち着いたら、積極的に子供たちが地域へ出て、自分の住んでいる地域を改めて見て、感じてほしいと思う。そこで、ボランティアに参加できるとよい。

【感想】

- ・教職員自己評価では、前年度よりUPしている項目があり、教職員が生徒に対して愛情をもって指導していることが伺われる。
- ・教職員自己評価が80%未満の項目においては、改善策が示され、今後を期待する。

(2) 評価

- ・本校の学校評価は妥当である。